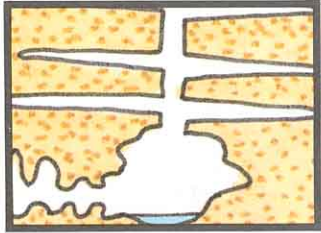
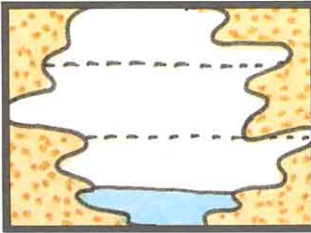
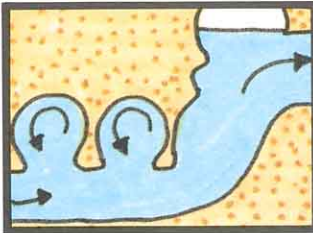


しょうにゅうどう かた  
**鍾乳洞のでき方②**

ふ し ぎ かたち

鍾乳洞って

# 不思議な形はこうしてできます。



●**陥穴(おうけつ)**  
 地下水が鍾乳洞のなかを流れてゆこうち、石灰岩のへこみのところで、砂などといっしょにうずまき、それによって石灰岩がけずれ、まるい形になることです。数個あるいは数千個もつづけてできます。

●**ベルボール**  
 鍾乳洞の天井にできます。形がつりがねを下から見上げたようなところから、ベル(鐘)ホール(穴)とつけられたそうです。これは洞穴のなかいっぱい流れていた水のうずまきによって、天井がけずりとられてできたものです。

●**汀線の跡**  
 洞穴の中で地下水が同じ水位で流れていると、水の表面のところだけ、よけいに石灰岩をとがしてくぼみをつくりまします。このことを汀線の跡といいます。汀線とは、水面と岩が接する線のことです。

●**断層**  
 地震の多い日本では、地中がいつもすこしずつ動いています。このため、洞穴の中に断層が表われます。また、鍾乳洞などのできる原因といわれています。